

「中国残留邦人等への理解を深める集い」参加のご案内

昭和20年当時、旧満州地区(中国東北部)には、開拓団など多くの日本人が居住していましたが、同年8月のソ連軍の対日参戦により、多くの方が家族と死別し、あるいは離別するなどしました。そのため孤児になり中国の養父母に育てられたり、やむなく中国に残ることになった方々を「中国残留邦人」といいます。

中国残留邦人の方々は、帰国後も言葉の壁や生活習慣等の違いから、地域社会において様々な困難や不安を抱えているところ です。

大阪中国帰国者センターは、多文化共生、高齢者支援など様々な活動に取り組んでおられる方々に、情報交換や協力関係強化につながる場を提供したいと考え、「中国残留邦人等への理解を深める集い及び食文化交流会」を開催することとなりました。

ご多忙中とは存じますが、何卒ご参加くださいますようご案内申し上げます。

日 時: 2016年11月10日(木) 午後2:00~6:00

講演会:午後2:00~4:00(無料) 交流会:午後4:00~6:00(会費:1,000円)

場 所:大阪中国帰国者センター 2階集会室

〒533-0024 大阪市東淀川区柴島3-10-19 Tel 06-6321-1967

対 象:地域住民及び民生委員、自治会・老人会役員など

定 員:40名

プログラム

- 講演:「中国残留邦人等の歴史と現状」
辻本角義(大阪中国帰国者センター理事長)
- 体験:中国残留日本人の体験談
初田三雄氏
- 踊り
グループダンス・太極拳(帰国者ダンスグループ)
- 食文化交流会
水餃子、お茶卵、サラダなど簡単な中華料理を食べながら理解と交流を

プロフィール

初田三雄氏 1942年12月6日(昭和17年)中国満洲生まれ。1945年に2歳の時に現在の養父母に引き取られ、中国人として育てられる。高校を卒業後、中国の瀋陽市家具工場で働く。1984年の一時帰国を経て、1987年に帰国。孤児の人権、尊厳を取り戻すため兵庫訴訟の原告団長を務める。当時、国家賠償を求めた17訴訟のうち彼の原告団だけが第一審で勝訴する。現在は兵庫県伊丹市に在住。

辻本角義氏 1975年近畿大学法学部卒業後、大阪府保健福祉室係長、課長補佐、生活支援課長などを歴任。平成23年大阪府社協施設福祉部長に就任。平成25年12月に大阪中国帰国者センターの理事長に就任。

主 催:一般社団法人大阪中国帰国者センター

協 力:大阪市福祉局生活福祉部 保護課

問い合わせ先:大阪中国帰国者センター

Tel: 06-6321-1967(和田、長山)

11月10日「中国残留邦人等への理解を深める集い」参加申込書

(ふりがな) お名前		所属	
講演会	出席	交流会	出席 欠席
連絡先	〒 電話番号() -		

申込み締切:2016年10月31日

きりとり線

- 参加希望の方は、申込書にご記入の上、一般社団法人大阪中国帰国者センターまでFAXまたは、郵送でお送りください。電話でも構いません。
- 講演会に出席の方は交流会に出席か欠席、いずれかに○を付けてください。



- 阪急「柴島駅」から徒歩約8分
- 阪急「崇禅寺駅」から徒歩約10分
- 大阪市営バス(93系統、37系統)「柴島駅」から徒歩約1分